

## 対応・工夫【ユニバーサルデザインの視点】

| 対応・工夫の内容  | 事例番号 |
|---|------|
| ・教室の前面は必要な物のみ掲示したり、普段使用しないロッカーにはカーテンなどで目隠したりして教室環境を整備した。                                      | 事例2  |
| ・クラスを4チームに色分け(ピンク・青・黄・緑)し、1年通して整列や掃除場所などをチームごとに行うことにした。また、ロッカーや靴箱もチームの色で示すことで、自分の場所を分かりやすくした。 | 事例2  |
| ・児童の学習机に筆記用具を置く場所を示すテープを貼り、物の置き場を明確に示した。また、机上に出しておく物(鉛筆・赤青鉛筆・消しゴム・定規)を指定し、刺激量の調整を行った。         | 事例2  |
| ・国語、算数はノートと同じマス数で板書した。  | 事例2  |
| ・実物教材を使用し、手に取って操作した。モデルを示すなどの見て分かる工夫をした。  | 事例6  |